

●今月のテーマ● たま

トリップ
TRIP Part6

待ちに待った夏休み!...とはいっても、今年は夏休みが短かったり、遠くへの旅行ができなかったり…。でも、皆さんの身近な多摩地域にもすてきな場所がきっとあるはず。そこで、自転車で行けるような距離の“たま”に関連する本を集めてみました。知らなかった魅力を発見しちゃうかも!? 今お出かけに行くのはちょっと難しいけれど、早くお友達と楽しくお出かけできる日がきますように…。

ニュース!

すてきなプレゼントを
いただきました!



中央大学附属中学校・高等学校 2019 年度白門祭実行委員会様から、白門祭の売り上げで購入したすてきなプレゼントをいただきました!

図書館貫井北分室オリジナルキャラクターの“すっきー”とYAコーナーのキャラクター“ヤン猿”が描かれたブックトラックなど、4点です。

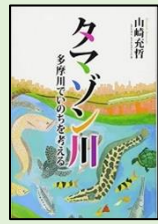
早速YAコーナーにて活躍中です!

ありがとうございました♡



『タマソン川』

山崎充哲/著 旬報社 K/519
アロワナ、ピラニア、グッピー…。遠い国からやってきた、多摩川に“いるはずのない魚”たち。「これじゃ、タマ川じゃなくてタマソン川ですよ」。多摩川に生きるいのちについて一緒に考えてみませんか?



『たまがわ』

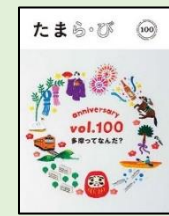
村松昭/作 偕成社 赤E

奥多摩から流れだし、大都市・東京と神奈川の間を流れて東京湾にそそぐ多摩川は、多くの人に親しまれてきました。神さまと男の子が雲にのって空から見ていく、絵地図の本。絵本とあなどる事なかれ。多摩川を鳥になった気分で上から眺めるおもしろさ。多摩川の上流から下流までたどっていく旅は、知らなかったことがいっぱいです!



『たまたら・び No.100』

けやき出版/編
多摩情報メディア 291
多摩エリアの地域情報誌、「たまたら・び」。記念すべき100号のテーマは、<多摩ってなんだ?>。420万人が暮らす東京の西側、多摩。そこには30の市町村があります。自然が多く残り、都心へのアクセスも便利。“多摩”は広いから、よく知っている場所もあれば、全然知らない場所もたくさん…。もう一度多摩の魅力を見つけてみよう! 多摩って、なんだ?



『かわいい江戸絵画』

府中市美術館/編 求龍堂 721

府中の森公園のなかにある府中市美術館。2013年春、その斬新さで大反響となった展示会の図録を書籍化。その後も毎年企画展が行われています。江戸時代の絵画に「かわいい」という視点で触れてみるのはいかが? かわいい形、かわいい動物…ひと口に「かわいい」といってもいろいろ。なかには、「これは…かわいいの?」といったものまで。あなたの思う「かわいい」を見つけて。



『永久のゼッケン』

倉阪鬼一郎/著 出版芸術社
913.6/クラサ
毎年多摩川で開催される、100キロを走る過酷なウルトラマラソン。その50キロコースに、真鈴は母と挑戦することになった。亡くなった父が果たせなかった10回目のウルトラマラソン完走を、2人合わせて達成するために。「前へ進むのは、いまだ。」



きたまちYAひろば
活動報告

🍊 ブック de トーク&2020YA夏袋 🍹

昨年度最後の3月と今年度の5月のひろばは、コロナウイルスの影響で中止となり開催できずにいましたが、8月2日(日)にやっと今年度最初のきたまちYAひろばを開催することができました。

第1回目のひろばは、今年度の活動計画を立て、「ブック de トーク」(紹介型読書会)を開催しました。久しぶりにサポーターの皆さんの元気な顔を見られて、とても楽しいひと時でした。「夏休みにオススメの本」をテーマに紹介しあい、POPを作ってもらいました。紹介された本は中身が見えないようラッピングして、毎年恒例“YA夏袋”として8月15日頃から図書館で貸出をします。

